

北犬飼地区

開催日：令和4年11月7日（月）

開催場所：北犬飼コミュニティセンター

参加議員：

橋本修、宇賀神敏、石川さやか、鈴木敏雄、小島実、増淵靖弘、大島久幸議長

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
茂呂	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の予算が当初は 50 億か 60 億と言っていたようだが、最近では 70 億とのことで、予算というのはそんなにころころ変わるものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部が答えるべき内容。 コロナ禍やウクライナ侵攻による物価高騰や、当初予算に組み込まれていなかった備品の追加など、執行部のテクニックもあり、後から予算計上されている。内容的には過度に間違った予算ではないということで、議会でも精査し、最終的に承認している。見た目には大分増えたようで驚かれるかもしれない。
茂呂	<ul style="list-style-type: none"> ・10 億 20 億の増額を簡単に承諾するのはおかしいのではないかと。議会はお金があるから通すのか。なんでもコロナのせいにして。議会をもっとしっかりしてほしい。 ・市長が後から後から出してくるからと言って認めていたらおかしい。間違っている。議員は肝に銘じて活動してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耳が痛いご意見だ。上限 60 億は市長が提唱したことで、なるべく市民に負担をかけないよう当初予算を組んでいた。コロナの前にオリンピックの資材高騰があるだろうという予測は織り込み済みだった。それでも 10 億 20 億の増額はじくじたる思いだが、もし予算を通さなかったら、建設途中で止まって未完成となり、もっと市民に迷惑をかけてしまい、賛成せざるを得ない状況。 後出しで予算が出てくるので完成時に総額と詳細を明らかにしていきたい。 60 億以内という本予算に、プラスして建設費が物価、資材、人件費の高騰で積算した。それを未払いにして投げ出したら建設業者に莫大な損害賠償を支払うことになり、訴えられてしまう。 60 億は議員が試算したわけではない。「60 億ではできないのでは？」と、自分も含め何人かが議会質問もした。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>資材高騰分は特約に入っているので、支払わないわけに行かない。</p> <p>【訂正・追加説明】 物価、資材、人件費等の高騰で建設費が 10 億～20 億円増額されたという事実はありません。庁舎整備費の概要と経過について記載致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年 7 月の実施設計案で 60 億円と見込んでいたが、同年 9 月実施設計策定時に工事価格が見込みより上昇したため、事業費を 65 億円に増額し、同年 10 月に議会で承認。 ・地元業者発注枠 3 億円を加え、合計 68 億円で工事を進めている。 ・事業費以外の経費としては、約 5 億円が想定されている。(電話交換設備更新費、電話機リース費、書架購入費、行政情報ネットワーク構築費、防災機器移設費、仮庁舎及び駐車場借り上げ費、廃棄備品処分費等)
<p>松原 1 丁目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総務常任委員会の「スマートシティにおける地域公共交通」について議会からの提言について、松原は特に予約バスで運営しているが、使い勝手が悪く、利用率もかなり低い。リーバスについても街の中心部が重視されていて、北犬飼地区は遅れている。高齢者の免許返納が増えると、陸の孤島になりかねない。 ・松原自治会としても、コミュニティバスについて資料を集め、研究できるよう準備していきたい。 <p>今後も発展の見込まれる、北犬飼、東部台地区の交通アクセスについて今後の取り組みを議会はどのように考えているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーバス、予約バスの利便性を上げるために例えば坂田山では同じ方向だけで逆回りがなかったり、新しくできた千渡の道路の先や松原もリーバスが通っていない。また、現金だけでなく、トトラやスイカ等の IC カードも使えるようにするなど、利便性を上げていきたい。公共交通審議会でもコースや時間が決められているが、議会としても路線のコースや時間変更などトータルで考えて提言している。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
松原 3丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・14年前、鶴田鹿沼間の新駅構想が佐藤市長の選挙公約によりなくなってしまった。それまでは議会でも数十年間推進の議決もしてきたのに、その後なぜ議会は精査しないのか。議会はどう考えているのか。第8次総合計画にもコンパクトシティプラスネットワークと書かれている。JRの赤字路線の廃止、リーバス、デマンドバス、新駅、LRTの鹿沼までの延伸も含めてご検討いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新駅については、自分たちもいろいろな角度から検討した。JR日光線自体が、一日の乗車率が悪ければ大宮支社でも言われているが廃止の可能性もあるし、JRは完全に民間なので、赤字路線に駅は絶対に作らない。 ・ここにいるほとんどの議員がLRT学習会に参加した。アクセス的に大谷まで駅は来るので、頑張って鹿沼までくれば松原も通る路線を引っ張って来ればということで、宇都宮の推進同盟の方たちと連携し、鹿沼市としても会派を超えた同盟を作り、近未来の課題として予算も含め議論して行きたい。
松原 3丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・新駅については、数十年前になるが、行政、議会、近隣市町も巻き込んで「パークアンドライド構想」ということで当時審議会委員もしていた。鹿沼市全体と宇都宮西部の近未来の大きな課題ということで、新駅というインフラ整備にぜひ取り組んでほしい。下野新聞に議員有志でLRTについて勉強したことが掲載されていた。それらも含めて鹿沼市の課題として研究してほしい。 	<p>【訂正・追加説明】</p> <p>現在は宇都宮駅東口までの工事が完了し、試運転中。今後、駅西から青年会館（コンセーレ）までの延伸が計画中ですが、大谷までの延伸についてはまだ検討中です。</p>
深津	<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数24名のところ現員数23名で、一人の女性議員が、辞める理由を市民に公表もせず、途中で辞めてしまい、一人抜けている。次回選挙に向けて22名にするのか、20名にするのか、定数について内部で議論はしているのか。 ・新議場になって、新たな気持ちで一般質問を行っていると思うので、新議場に観に行ってみたい。議員の大変さは分かるので、ぜひ頑張ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町の状況や人口が同規模の他自治体との比較等、様々なデータを基に議論した。鹿沼市は480km²あり、面積が広い中で、北犬飼地区も含めて人口の割に議員がいないところがあり、例えば災害時のゴミ問題など、スムーズに行かないこともあった。 ・以前の議会に比べると、閉会中の継続調査、予算委員会、議会報告会など、時間を割いて議論しているが、それが見えていない現状。今後は常任委員会もテレビ中継をしたり、議員活動自体がきちんと評価されるよう努力したい。 ・今のところ24名だが、人口減少に合わせて次回は減らす可能性もある。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
白桑田	<ul style="list-style-type: none"> ・白桑田東の河川は用水路(町田用水)が古くなっていて、近年の災害でも被害を受けている。高速道路の3車線化に加えて、鹿沼街道の片側2車線化になると、水がものすごく流れてくると思い心配している。(高速道路の3車線化後、道路公団にそこに流さないでほしいと要望したこともある) ・また、数年前に某私立学校がグラウンドを整備した際に、余った水を白桑田に流すことについて宇都宮市から一切説明がなかった。そのことについて、ここにいない議員に数回お願いしたが、なぜ白桑田に話を通してくれないのか。宇都宮には話があったそうだ。白桑田の河川は狭いため、氾濫して大変危険。用水路は50年以上経過している。河川の対策をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を初めてお聞きしたので、高速道路から落ちてくる水の行き場、雨水対策について、政策調査・研究委員会でまとめて、市に提言できるよう強く要望していきたい。
上石川	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減は全国的な問題で仕方がないが、鹿沼はとても住み良い。野生鳥獣にとっても住み良いのか、シカ、たぬきがものすごく増えている。交通事故の原因にもなっている。対策を進めて解決してほしい。 ・繁殖を抑える方法はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤメッシュ(防護柵)の設置補助の対策しかない。近年イノシシが豚熱で減ってはいるが、また復活し始めている。 ・ワイヤメッシュの補助金が増額された。何人かグループで設置要望の申請をすれば費用もかなり抑えられ、個人より広範囲に設置できるので補助金を活用していただき、今後も地域の力をいただき。 <p>【訂正・追加説明】</p> <p>防護柵設置補助の他に、箱罟等の貸し出し、有害鳥獣捕獲報奨金、里山整備に対する支援(田畑から100m以内の藪化した里山林)等があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の防護柵補助金はなるべく早く申し込んでいただきたい。一つ問題点は、猟友会の方が減っているということ。地域地域に縄張りのようなものもあるそうなので、地域の猟友会の方とも連携していただきたい。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
松原 3丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の取り組みの紹介になるが、白桑田、深津、松原3自治会の会員が協力し、「津田の里山を育てる会」を設立し、矢口会長と、去年からスタートした。こどもの公園だけでなく高齢者との集いの場にもなる。荒れ放題の里山を整備し、鳥獣害も減る。大きい公園は維持費、設備費それなりにかかるが、こういった取り組みも知っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一石二鳥の提言をありがとうございます。宇都宮には森林公園、壬生にはわんぱく公園があるが、鹿沼には安心して遊ばせられる大きな公園がない。遊具はなくていいので、車が入れないようにした芝生の広い敷地で遊ばせてあげたいと提言していたが、そこに里山がついていたら最高だと思う。今後、参考にさせていただき調査研究していきたい。
深津	<ul style="list-style-type: none"> ・深津には新産業団地ができる。鹿沼インターがあるので流通が良い。さつきロードを利用する方が多いが、普通車160円、一日往復320円、それを毎日というのは、いつまで取るのか。自分も工業団地に勤めているが、若い方からも、なんとか無償化してほしいという声が上がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県の設備なので、県議には何回も言っているが、県としてはいい収入源になっている一方で鹿沼にとっては一番のネックになっている。県に強く要望していく。
松原 1丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・いちごっこ広場はとてもいい設備で何度か行った。ネットで予約もできる進んだ施設だと思う。 ・しかし、他の支援センターが少ないように思う。あんなに大きくなっていいので、数を増やした方がワンオペで悩んでいるママさんたちの支援になるのでは。娘が埼玉県宮代町に住んでいて、支援センターが多く、子育てに優しい町。鹿沼市も子育てに優しい町として支援を拡充してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿沼市にはこどもの未来を考える「こども未来部」がある。いくら借金がなくても子供がいなければ何にもならない。きめ細やかに子育て支援を行えるよう重く受け止め、政策提言していきたい。
深津	<ul style="list-style-type: none"> ・広報かぬまに各団体やイベントを紹介するスペースを1ページでいいので作ってほしい。自分は老人クラブに携わっていて、広報かぬまに案内したい内容がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の職員も聞いているので広報を作成している課に伝えてください。 <p>【訂正・追加説明】 ご意見として政策調査・研究委員会に伝えます。</p>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
茂呂	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、役を引き受けることが大変だということで組内(自治会)を抜ける方が増えている。会費が大変だとか、特典がないと言われるが、なるべく会員を減らさないために、市としては何か良い案、考えがあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な意見だと思う。自分は上殿で大手の住宅メーカーは自治会に入らなくていいと言っていると耳にしたことも。議会としても課題として政策調査・研究委員会で研究していきたい。
松原 3丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・津田小の学校運営協議会で地域の学校にするため、例えば高齢者の知恵を活かして子供たちに色々なことを学ばせる機会を設けたり、参加する機会を増やし、そんなことから横の繋がりをつくって、「自治会っていいよね」という風に、津田小卒の高校生、大学生に何かしてもらったり、多世代の交流を深めていくことができれば、自治会の脱会防止につながるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流の先進事例として、議会としても参考にします。

中央地区

開催日：令和4年11月8日(火)

開催場所：社会福祉協議会

参加議員：藤田義昭、加藤美智子、舘野裕昭、大貫毅、津久井健吉、鰐原一男、阿部秀実、大島久幸議長

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
三幸町	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の活動がわかりにくい。地域に情報を知らせる役目もあるので市民に見えるように取り組んでもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりで活動報告させていただいているのでぜひ読んでいただきたい。ケーブルテレビも加入されている方のみになるがご覧いただきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・新市庁舎が完成したら常任委員会室にカメラを設置し、動画配信することを検討している。
今宮町	<ul style="list-style-type: none"> ・来年は市政75周年だが鹿沼市は発展していると言えるのか。阿部市長は箱モノを作ってきたが佐藤市長は堅実派で発展という観点ではどうか。議会の行政へのチェック機能を高めてもらいたい。中央地区が停滞している印象。市長への要望で尻を叩いてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政に対する監視・評価・提言が議会の仕事である。まちを活性化させるためのご提案をぜひいただきたい。
鳥居跡町	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化による人口減少が鹿沼市は県内で一番と聞いているのでどう阻止していくか。新鹿沼駅前はお茶を飲む場所すらない。高校生が多く利用するので意見を聴いてもらいたい。彫刻屋台の活用などもお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の意見を集めるために市民マーケティング調査特別委員会でアンケート調査を行ったので活かしていきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・駅前についてはJRも含めて協議していきたい。高校生と議会の意見交換会も実施しているので若い世代の意見として活かしていく。
久保町	<ul style="list-style-type: none"> ・(市民マーケティング調査特別委員会の報告について)中央地区にあまり施設がない。総合計画に柳田商店跡地整備に関する記述がない。この跡地をどうするかプロジェクトなどをつくって筋道をつけてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この場での回答は難しい。政策調査・研究委員会などで協議していきたい。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
下材木 町	・防災対策を要望する。また鳥獣被害対策も お願いしたい。広陵カントリークラブ付近 ではイノシシ被害も発生している。	・中山間地域も含めて防災対策や野生鳥獣 対策を行っている。コロナ対策交付金を活 用できるので、何らかの対策を講じたい。
今宮町	・会派の構成基準を知りたい。	・同じような政策を持った議員同士で構成 されている。 ・希望は自民党の党籍を持っている。
日吉町	・鳥獣被害が出ている。日吉神社や千寿荘の 辺りでは農作物が作れない状況。西鹿沼町 や花岡町でも同様。駆除できる人がいない ので対策を。	(要望のみ)
日吉町	・議員定数について現状維持としているが、 削減や増減について議員から意見はどうか。	・自治連からの 20 名への削減について本会 議で採決を行った結果、賛成 10 名、反対 11 名、棄権 1 名であった。
日吉町	・議会の動画配信がいつも同じカメラ位置 で見飽きてしまうので工夫できないか。議 員の言葉使いも気を付けてほしい。	・承知した。カメラについては研究したい。
三幸町	・鹿沼市は人口減少が顕著。市政が失敗した のか。大田原市は田舎なのに街が元気だ。 今の議員にそれらの課題解決を頑張って ほしい。柳田跡地の問題もお願いしたい。 自治連も高校生との意見交換会を 6 回行 った。駅前で高校生がお茶を飲む場所もな い。駅前活性化は渾身のお願いでもある。 空き家も増えているので対策をお願いし たい。	(要望のみ)

栗野地区

開催日：令和4年11月10日（木）

開催場所：栗野コミュニティセンター

参加議員：

梶原隆、大貫桂一、石川さやか、阿部秀実、佐藤誠、横尾武男、大島久幸議長

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
口栗野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回平成30年の意見交換会の時にも申し上げたが、議員の一般質問の際に、最初の登壇については市長のみで部長については自席で行うようにしてはどうか。 ・ 施策と施行について、国会やテレビのアンウンサーなど、大部分は「せさく」「せこう」ではなく、「しさく」「しこう」と言っていると思う。 ぜひ、鹿沼市から議員を含めて執行部にも正しい言い方を発信しては如何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市長だけが登壇することで時間短縮になり、議員の発言時間が長くなる利点もある。今後検討してみたい。 ・ 日本語の研究者によると、今の若い世代はどちらの言葉も使っており、現在はどちらも正しいということになっているとテレビで報じられていた。建築用語では「せこう」で、使い分けの方がいいとも思うし、世代としては使い分けたい気持ちはある。
口栗野	<ul style="list-style-type: none"> ・ マーケティング調査の提言4「防災問題について」、栗野地区では防災無線が今月末で廃止になる。市ではインフォカナルを使用するか、防災メールを見るようにとのことで、FM放送が届かない地区にとってはそれしかないとも思う。しかし、高齢者への対応が難しい。自治会としては高齢者に対して自治会長から支部長に連絡し、フィードバックして確認し、未加入者については自治会長がアウトしている状況。地域住民の中には、避難に対する認識の違いにより何度お願いしても避難してもらえず、人命に問題はなかったが結果的に逃げ遅れた方がいる。そういう方に避難してもらえよう、危機感を持ってもらうためにも、情報を早めに数多く発信して欲しい。 ・ 令和元年災では、永野川の河川情報はかなりマメにエリアメールが出ていたが、栗野川（思川支流）では、一回の河川情報もな 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市、日光市では非難情報が早く出たが鹿沼市は情報をまとめて出そうとしたために、かなり時間が経過した後だった。 議員にも防災本部からの情報はなかった。鹿沼ケーブルテレビや民放での放送もされず、鹿沼市の広報活動には問題があった。堤防が2カ所決壊したことなどを含め、もっと緻密な情報が必要だった。 ・ 市民マーケティング調査は1,000件に対し1,100件以上の回答があった。提言4に関しては栗野地区の方からも市に対し多くの意見等があった。この意見をしっかりと受け止めて、市に要望していきたい。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>かった。天満橋の水位観測所のデータは3mで水没して計測不可能になっていた。その後県と市に要望し、水面の観測装置を設置してもらったので、そういう情報こそマメに発信してほしい。8時頃全市に避難勧告がでたが、その頃既に堤防が決壊していて、停電にはなっていなかったので車で避難しようとして立ち往生し、特に電気自動車の方は故障してしまった。</p> <p>また、今後は線状降水帯の情報が気象庁から出るようになるが、鹿沼市としてもそういう情報を惜しみなく出してほしい。</p> <p>避難所の見直しについて、粟野小学校は校庭が水浸しでもう避難所としては使えない。代替地としてのコミュニティセンターと体育館についても、ここに来るまでに橋を渡らなければならない。山間地での安全な避難所についてはこれからの課題。</p>	
口栗野	<ul style="list-style-type: none"> 約1か月開設されたワンストップ窓口では、生活支援を行ったり、罹災証明を早く発行することで被災した住宅の後片付けを早く行うことができた。水没した証拠写真が必要となることも知らない住民も多くいたことから市の早急な対応に感謝したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 罹災証明には浸水の証拠写真を添付することが義務付けられているため、ワンストップでの発行を行った執行部の動きは素晴らしいものだったと思う。粟野での教訓もあったので、今後に活かしていきたい。
口栗野	<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりの文字の揮ごうは高校生徒が行っている。18歳からの選挙権ということで、よいことだと思う。 政務活動費毎年一人30万円でていて、全体で690万円。議会だよりに全国に先進地視察に行った報告がある。視察に行くことは良いが、報告があるだけで鹿沼市にどう反映されているかがわからない。 <p>議会だよりに掲載されている視察報告に対し、次号でその後どう反映されたかも掲載すべきではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 例えば視察の成果として花木センター内に整備されたこどもの遊び場「いちごっこ広場」や、図書館内に入口付近にカフェができたことなどがある。 鹿沼市への視察受け入れとしては、運転免許証の自主返納者に対する終身無料券交付や、クリーンセンター内のバイオガス発電等がある。 具体的な形になった事例は少ない。ただ、形にはならないが、各議員が様々な提言をしている。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<ul style="list-style-type: none"> 先頃北海道をリサーチして行かれたそうだが、その知見をなにかしらの形で生かしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな場所を見ることにより知見を深めて積み重ねることで、執行部からこうしていきたいと説明があったときに、知見があれば議論ができるので良いと思う。 <p>質疑外意見</p> <p>鹿沼市議会は、夏は北海道、冬は九州に行く傾向にある。3日間の視察で1か所90分程度、2カ所の視察でトータル3時間程度の視察で議員1人10万円程度かかっている。2日目の視察が終わり、帰れないので宿泊をして3日目まで視察をするが、地域を見て帰るが、人によっては観光ではないかとの声がある。しかし、地域の街を見ることも良いと思う。</p>
口栗野	<ul style="list-style-type: none"> 栗野は、水と緑のふるさとあわのネーミングで今までやってきた。他の町を見ると、蔵の街とちぎ、サシバの里いちかいなどがある。いちご市かぬま、ゼンリンをみてもネットを見ても出てこない。いちご市は自治体で認知されているのか、私はいちごのふるさとかぬまならわかる。しかし、いちごは真岡、栃木に続いたの3番手である。市長がそれで良いなら良いのですが、いちご市はいき過ぎではないか。○か×でも良いので教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> シティプロモーションの一環でいちご市を掲げている。強制するつもりはなく、市民の皆様にも愛されるような心持で市長は考えたのではないかと思う。栃木県はいちご王国と言っているのだから、規模が小さくかわいらしいネーミングなので良いかと思う。品質のよい鹿沼市が堂々と宣言し、地域を盛り上げてほしい。 私は「○○のまち」というネーミングは疑問がある。ただシティプロモーションの一環で使い分けるのは仕方ないことだと思う。 鹿沼という名前が全国的に知られているのは「鹿沼土」ではないかと思う。沖縄のパイナップルパークにも鹿沼土が利用されており嬉しかった。しかし鹿沼土をシティプロモーションの一環で使うには地味だと思うので、そういう意味では、いちごのイメージはかわいいので良いと思う。ただ、いちご市として打ち出すのであれば、小山市のように色々なおいしい苺を食べ

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>られる場があれば納得できる。以前開催された中学生議会で、ごみ袋を萐色にするよりも、市民がいちご市で喜べるような施策を行ってほしいと発言していた。ベリーちゃんは以前に比べてとてもかわいくなった。シティプロモーションとしては良いが、いちご市を言い続けることにあまり賛成ではない。</p> <p>・いちご市に関係する物は議会の承認を得るものは一つもない。市としてシティプロモーションの一環で使うことに納得している人、そうでない人がいるのが現状。議会の賛否を取ってからやった方が良いとは思いますが、他の特産物もあるので極端な話でいくのは疑問。</p> <p>・いちご市というネーミングには多少違和感がある。他にも木工のまちとか、さつきのまちなどで売り出してきている。その一部として、まちのデザインとしていちご市を作ったと思う。 鹿沼のいちごは品質が良く美味しいが、出荷はほとんどが農協にしており東京に行っている。東京のデパートではかなり良い値段で販売されている。そういういちごが鹿沼市内で販売され食べられるようになり、初めていちご市ではないかと一般質問をした。現状を見ると、いちご市＝鹿沼市は違和感がある。</p> <p>・○か×で答えてくれとあったが、私は 。いちご市は素晴らしいと言ったことはないが、仕方ないとは発言した。いくつか問題点を上げると、中途半端なパフォーマンスで終わってしまっていることが問題。しかし、いちご市を掲げることで膨大なコストがかかっている訳ではないので 。</p>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<ul style="list-style-type: none"> ・結論から言うと×。いちごの品種を開発しているのは栃木県で、その中で1つの市が独自にいちご市を名乗るのは他市に失礼であると思うので反対。
口栗野	<ul style="list-style-type: none"> ・他市でそれぞれの産業をネーミングしていることは良いことだと思う。議員の意見の中でもいちごだけが特産物ではない。栗野の人はいちご市を賛成している人はいないので。いちごのふるさとかぬまにするべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿沼市の中でいちごの発祥は栗野である。門外不出であったが市内にも広がっていった。なので、いちごのふるさとにするなら栗野で試してみてもどうか。
口栗野	<ul style="list-style-type: none"> ・栗野と鹿沼が合併した当時は人口 10 万 5 千人であったが、現在は 9 万 3 千人。全国的に少子化が進んでいるので仕方ないで済むことなのか。 市長は宇都宮の LRT を鹿沼の工業団地まで延伸するように提言しなかったのか。 鹿沼市は夢のある計画をして頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市長の選挙公約「新駅より医療と福祉」は、北犬飼に新駅を作る話と関連がある。新駅に関する一般質問をした議員がおり、答弁は「作らない」であった。 ・宇都宮は最終的には大谷まで LRT を伸ばしたいと言っているが、費用対効果や世論の反対意見もある。大谷まで伸ばしてくれれば鹿沼まで伸ばすこともできるし、JR 鹿沼駅を LRT 化することもできる。LRT 化すれば鶴田から鹿沼に停留所を何か所も作れると思う。そういった協議があるから、ああいった新聞報道もされているという実態だ。 ・LRT の計画は当初から鹿沼市は入っていない。大谷まではあったとしても、鹿沼までは全くない。通して頂けるのであれば反対はしないが、今ここで議員連盟を作っても中々難しいのではないかと思う。 ・自分も LRT の勉強会に参加し、同じ説明を聞いたが、受け取り方が違うと思う。例えば駅東側は順調に進んでいるが、駅の西側に通すだけでも新幹線の上も在来線の下も通せないでコノ字に通すというかなり大変こと。東側の用地はスムーズだったが、西側はビル1つ動かすだけでも

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>莫大な費用がかかるとの説明で、桜通り十文字まで、その先コンサーレまで既に困難なのに、大谷まで伸ばすには相当時間がかかると思う。その頃には自動運転やドローンの技術など、別の交通手段が進歩するのではと、個人的には期待してしまっている。</p>

南押原地区

開催日：令和4年11月11日(金)

開催場所：南押原コミュニティセンター

参加議員：鈴木毅、石川さやか、阿部秀実、市田登、谷中恵子、大島久幸議長

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
北赤塚 町	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の状況はケーブルテレビや議会だよりで拝見しているが、陳情者の名前が書かれていないので、どなたが提出したのか明記すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の問題があり、陳情内容のみ掲載している。どこの誰がというところまではデリケートな問題なので、提出者名は差し控えている。
北赤塚 町	<ul style="list-style-type: none"> ・議会は市に要望する立場とのことで、議会から新規の要望という形の発信が非常に弱いのではないかと。市に全ての事業を決められて、それに対する増額や追加をお願いするばかり。市長も議員もそれぞれ市民から付託を受けており、本来同等であるにも関わらず従になっている。会派がいくつもあり、それぞれに要望しているが、もっと組織全体が横断した形で議員立法という明確な形で施策の提案を行うべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎が全て完成したら、本会議だけでなく常任委員会にもテレビカメラを入れたいと思っている。議会だより、ケーブルテレビ、ネット配信、議会報告会等あらゆるツールで発信していきたい。 ・二元代表制の中で、どうしても市長が強く、議会はそれ従っているのではとの意見だが、最近の市議会は、議案の賛成と反対が拮抗していたり緊張感がある。そういう意味では市長も議会を軽んじるわけに行かず、しっかりと議会に説明し、理解を得て事業を進めなければならない状況。傍から見ていて、議員提案、議員の主張が弱いということなので、これからしっかりやっていきたい。 ・予算に関しては執行部に執行権があるので、これまで各会派から要望をしてきた。しかし、各会派から多数の項目の要望が提出されるため、議会としてどれが本当にやってほしいことなのかを明確にするために、予算委員会を立ち上げ、常任委員会ごと議事全体としての一致した意見を予算要望するようになった。しかし、市が目指すものと、ずれがあるのか、議会として市民の皆さまからお聞きしたものを、望むものをまとめて要望しても中々予算がつか

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
磯町	<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数の削減について、先頃自治会連合会でお願した陳情が不採択となった。それはそれで仕方がないが、その後、議会としてはどういう考えで、どう進めていく方向性なのかをお聞きしたい。今後も話し合っていくのか、これで終わりなのか。 	<p>ず、更に一般質問をしたりして、何とか進めたいと努力している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会連合会から議員定数を 20 名にという陳情を頂き、議会として話し合った結果、20 名は難しいということになり、皆さまにとっては残念な結果になってしまった。その時に、「20 名が良い」「いきなり 20 名ではなく 22 名」、「今現在 23 名でやっているから 23 名」、「定数を削減するなら報酬をどうするか」など、様々な意見が出た。議会全体として再度話し合う機会を設けたいと考えている。 ・今後、若い世代にも議員になってもらうためには、今の議員報酬で十分に子育てできるのかも含めて、しっかりと議論し、今後も検討していきたい。
亀和田町	<ul style="list-style-type: none"> ・防災について、ハザードマップを全戸配布しているが、見ない人、見ても理解できない人がある。土砂災害の恐れのある地域にもっと看板を増やしたり、水害時「ここは最大水深何m来る」といった地域住民が実物を見て分かるような表示をし、危機意識を持ってもらうことで防災意識を高められるようにしてはどうか。県と協力して進めて頂けるよう、市に要望してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップについては、避難所の近所に住んでいる方には分かって、近所に住んでいない方も避難するので、誰もが見てすぐ分かるような看板を増やすなど、議会で議論して提言していきたい。貴重なご意見をありがとうございます。
北赤塚町	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題として、不耕作地(休耕地)が広がっており、火災の心配もあるが、タヌキの住かになっている。住民は箱罠を使って捕獲しているが、市の環境課は生きているものは引き取ってくれない。捕獲した人が殺すか、山の向こうに捨ててくるしかないのが現状。実際には殺すのは難しい。例えば獣医師さんに登録してもらい、罠にかかった動物の殺処分をお願いしたい。 ・犬猫も問題で、動物愛護センターでは、犬 	<ul style="list-style-type: none"> ・犬猫の殺処分に反対する動物愛護家の運動があり、獣医師に犬猫の避妊手術をしてもらう費用を県や市で助成することを行っている。 ・ハクビシンなどの小動物は有害鳥獣だが自分で殺めるのは気が引けると思う。獣医師さんを巻き込んで仕組みを作るのは一つのアイデアだと思うので、市に提言していきたい。 <p>貴重なご意見、アイデアをありがとうございます</p>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>には対応するが、子猫には対応してくれない。実際には子猫が自分で生活できるようになったら捨てられていた場所に戻すという、おかしな対応をしているらしいので、市で小動物に対する制度を導入してほしい。</p>	<p>います。</p>
大和田町	<ul style="list-style-type: none"> ・物価の高騰が深刻で大変な状況の中、支援をお願いしたい。私は退職後農家をしていて、石油や資材の高騰で支援を頂いた。今年の分の肥料は去年買ったのでよく分からないが、年々値上がりしていて、今年は2割3割普通に上がっている。これが続くと、自分のような小規模農家は辞めてしまいたくなる方もたくさんいると思うし、耕作放棄地になってしまう。 ・議会でもスマート農業など、効率的な農業については研究されていると思うし、大規模農家に集約していくことは絶対的な方向性であると思う。しかし、中小規模農家はここ何十年と高齢化が進んでおり、一気には進まないと思う。農地バンクも利用すべきだと思うが、退職した後、10年15年は十分働けるので、そういう方に農家をやってもらえれば隙間は埋まる。大規模だけで農業は回らないので、退職起業者のような、小規模農家に対する支援も検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な提言をありがとうございます。実体験に基づいたご意見だと思いますので、退職農業者に対する支援も、議会として調査研究し、提言していきたいと思いません。
大和田町	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で少子化が進み、人口が9万4千まで減っている。よくテレビで「移住定住した方にこういう補助で移住者を募集しています」というのをやっているが、鹿沼市も何か移住者に対する特典があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住支援について、鹿沼市のHPでもご覧いただけるが、移住支援補助金は、東京圏から移住された方に最大100万円プラス子育て加算一人30万円という補助金がある。他にもリフォームの補助金等のメニューもあると思う。 <p>【訂正・追加説明】</p> <p>鹿沼市のHP内の移住者向けサイト「ジブンススタイルかぬま」 移住サポート 空き</p>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		家バンク 補助金ライブラリ をご参照 ください。
大和田 町	<ul style="list-style-type: none"> 花木センターを道の駅にすることについて数か月前から話は聞いている。実際にどんな形でどう動いていくのか話は聞くが、市民にとって形が一切見えてこない。進捗状況と、今後のプランについて伺いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 花木センターの道の駅化は佐藤市長の選挙公約でもあった。議員もまだ具体的な内容は知らされていない。道の駅化するための調査研究をして、具体的に進めていく旨の話はあった。 市議会としては次年度予算に対し、「先進地の視察をしたり、今の花木センターの現状をもう一度調査、把握する予算を追加で確保すべき」という提案をしている。市民にも具体的な計画がきちんと見えるよう示してほしいと市に伝えていきたい。
大和田 町	<ul style="list-style-type: none"> 水害について、図書館前の河川敷についてどう考えているのか。自分も母屋が水浸しになった。実際に水害に遭った身として、河川整備、水害対策をどう進めていくのか具体的に聞きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館前の河川ということで、府中橋から大和田までの河川についてだと思うが、毎回同じように被害を受け、毎回同じように復旧しているところを市民の皆さまも目にしていると思う。 激甚災害に指定されると基本的には同じ形に直す現状復旧でないと国の予算が出なかったが、今回からは河床を下げたり、護岸の根を深くしたり、多少改良復旧が認められた。見た目はあまり変わらないが、改良復旧の効果が出ることを期待している。
大和田 町	<ul style="list-style-type: none"> 大和田町が被災したのは平成 27 年災で、改良復旧ではない形での復旧だったため、河床の掘削や堤防の嵩上げはされていない。また、水害のあったところに県道が出来るので、それによって嵩上げされると思うが、具体的な数字は見えない。 先ほどのお話は令和元年災の話だと思う。この地区は改良復旧になっていないという認識を持っていただき、今後も県の仕事をよく見ていてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 承知しました。ありがとうございました。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
藤江町	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアが盛んになっていて、川でバーベキューする方が増えている。野鳥の写真を撮るため川を歩いていると、バーベキューをしたごみをそのままにして帰ってしまう人がいる。今年の夏は大芦川がYahoo!ニュースに載るような騒ぎになっている。河川ごみについて、何かいい対策がないか。 ・黒川は大芦ほどではないが、ところどころバーベキューごみが見られるし、火の始末がきちんとされているのかも疑問。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東大芦に住んでいるが、シーズンになると上日向の交差点から古峰ヶ原まで渋滞し、今はむしろ駐車場が問題になっている。事故があったときに救急車がたどり着けないことが懸念されており、今年は大久保に駐車場を設け、それなりの効果は出たと思う。 ・他にもごみ問題としては、老人クラブではごみは置いて行ってもらい、その分お金を払ってもらおうという意見もあるが、地元の方はどちらかというと来てほしくないのが本音で、話がまとまらない現状。ごみ問題の特効薬はなく、手探り状態。 現在は地元有志の方を中心に河川パトロールを始めたところで、今後場合によっては河川ごみの投棄は違法行為に持って行くことも考えたい。 <p>【訂正・追加説明】 大芦川の不法投棄、トイレ・騒音問題等の解決に向けて、大芦地区の皆様と行政機関が協力し、「大芦川創生プロジェクト」を発足しました。</p>
藤江町	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場整備事業が完了し、水田が整備された。しかし、南北に抜ける通路は全て舗装になっているが、東西の道路は砂利のままなのが残念。後期高齢者なので、毎日のように犬の散歩をしながら、四季折々の素晴らしい景色を楽しんでいる。初夏の深緑、秋の紅葉、桜の季節には雪が積もった男体山、記憶に残る素晴らしい景色。 ・圃場整備が終わったので、藤江町は散歩している人が増えた。長靴をはかずにスニーカーで散歩できるよう、できる限り舗装してほしい。 今年の4月に市道に認定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良で作った道路で、市道に認定されていれば舗装は可能なはずなので、執行部に伝えます。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
磯町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域には地域の素晴らしい良さがあるのに、南押原のような地域は中心からずっと南に位置していて、忘れられがちな面がある。教育委員会では「まるごと博物館事業」を進めている。なにも中央に大きな博物館を作らなくても、それぞれの地域地域が博物館という考え方。 ・ p 16 の 3 つ目の提言の文章からは、中央に文化ゾーンを作ればいいという風に、中央にばかり偏っているように感じられる。地域地域の特性を活かしたに文化ゾーンを作るという考え方、中央だけでなく地域のことにも配慮し、地域のことを考えた、地域を盛り上げていくような提言を加えてほしい。そうすることで、地域が人口減で消滅してしまうのではないかという心配がなくなり、その特色によっては人が集まり、地域の道路もよくなり、素晴らしい風景も見られるというように繋がっていくと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この調査報告書の文章では中央のことが取り上げられているが、各地域素晴らしい地域たくさんがあるので、ぜひ入れさせていただきたい。 市民マーケティング調査特別委員会ではそのような意見もあったのか、当時の副委員長からお願いします。 ・ 市民マーケティング調査特別委員会は昨年と一昨年 2 年間かけて子育て世代を中心に調査したもので、委員長が大島議長、副委員長が阿部でした。幼稚園、保育園、小中学校保護者を中心にアンケートを 1000 部配布し、保護者の方が自主的にコピーで増やして下さった結果、1100 部以上の回答が集まった。その中からまとめた 4 つの提言になっている。大きな公園や、子供の居場所、駅前に高校生の居場所がほしいなど、様々な意見があったので、今後も市に提言要望し、実現していきたい。
藤江町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の住まいは壬生のすぐ近くです。壬生にファナックが出来てから、登下校中の小学生を見ていると、地元の方はゆっくり走っているが、外から来る車が特にスピードを落とさないのととても危険に感じる。榎木小に通うには近いのでスクールバスは出ないと思うが、事故が起こる前に何か対策はできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お聞きして、大変危険だということが分かった。 たくさんある市内小中学校の中には、歩道整備が遅れており危ない所を登下校している子供たちが多くいる。子供は地域の宝で、絶対に事故に遭うようなことがあってはならない。市に提言していきたいと思う。
	道の駅について補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総務常任委員会で、本当に花木センターが道の駅に適しているかを検討しているところ。花木センターは国道に面していないので、国の予算も下りないかもしれず、もっときちんと調査して結論を出してほしいと予算要望した。道の駅はやるということになっているが、具体的に設計に着手しておらず、もんでいる最中だということ

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>ご理解いただきたい。</p> <p>・「道の駅」ではなく「道の駅化」。県内 26 カ所の道の駅で、国道に面していないところは一つもない。補助金が下りないのにやるのかということで、あまり進捗していない。</p> <p>【訂正・追加説明】</p> <p>道の駅「たかねざわ元気あつむら」は国道沿いではありません。</p>
	大芦川のごみ対策について補足説明	<p>・2年に一度クリーンセンターで開催しているエコライフフェアを、今年9月11日に大芦川のクリーン活動という形で実施した。きれいなまちづくり推進委員の方を中心に声を掛けいただき 100 人を超えるご参加(143名)を頂いた。チームごとに重量を競いながらゴミを拾うことで、鹿沼の河川がいかにかにひどい惨状かに気付いてもらい、美しい自然(清流)をみんなで守っていこうという取り組み。あちこちにバーベキューセットがまるごと投棄されているという現状を見ていただき、一つの方法だが、今後も皆さまのお知恵を頂きながら、いろいろな取り組みが出来たらいいのではないかと思う。</p>

東部台地区

開催日：令和4年11月14日(月)

開催場所：東部台コミュニティセンター

参加議員：藤田義昭、加藤美智子、館野裕昭、大貫毅、津久井健吉、鰐原一男、阿部秀実、大島久幸議長

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
緑町 2丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・本日南摩ダムの建設現場を見に行き思ったのは、元々南摩ダムは反対意見があり中止していたのに、今になって何故か皆さん南摩ダム大賛成となっているのはなぜなのか、議員一人ずつご意見をお聞きしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元々東大芦ダムが20年近く前、渡辺知事から福田知事に代わり計画が中止になり、村が二分された頃から見ている。鹿沼はほとんどが井戸で地下水からくみ上げていたが、宇都宮は蒸留水は鬼怒川から引っ張って両方を兼ねていた。いざというときには地下水だけでは非常にまずいので、私はずっと賛成の立場だった。もし20年前に進んでいたら、山間地域ももっと活性化したかもしれない。特に東大芦から日光に抜ける道路もできたと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・東大芦川ダムが中止になったことを残念に思う。令和元年の水害で、栗野は大きな被害に遭ったし、この辺りも大変だったと思う。南摩ダムの機能の一つに洪水調整という項目が加えられている通り、仮に南摩ダムがもっと早く完成していれば、被害を防げたのではないかと考えると大変残念に思っている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・私は南摩ダムについてはずっと反対の立場だった。南摩ダムは利水と治水の両方の性格を持っていて、そもそも水の需要の判断をしたのは相当昔。今現在本当に下流県でそれだけの水の需要があるかは微妙だと思う。鹿沼市も水をとる前提になっているが、その表流水を水道水として利用する場合は、新たに蒸留する施設を作る必要があり、東大芦の御幣岩橋あたりを想定していたと思うがその膨大な費用は水道料金に反映されるため、高くてもまずい水を飲まされるということにもなりかねない。 ・治水面で、例えば東日本台風の被害を防げたかいうと、南摩川は防げたとしても東大芦、栗野方面、思川にはほとんど影響ないと思う。黒川と大芦川から増水し、水が出たときは、あまりにも水量が多すぎて取水はできな

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>いので、流してしまうそう。もうちょっと水位が落ち着いたときに大芦川からの水が下流に流れない程度に、取水をする話なので極めて広域調整についても限定的なので、私は懐疑的に思っていた。しかしここまで工事が進んでしまって、今更これを止めることは現実問題ならないので、あとはいかにして鹿沼市の被害を最小限に食い止めつつ、有利なように活用できるかだと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東大芦ダムは中止になり、今南摩ダムということで、都会の水もそちらで賄うために始まったわけで、大貫議員と同じ意見で、ここまで進んできていることなので、これからは鹿沼市に関しては温泉施設やレジャー施設を生かして豊かなまち作りをしていけたらいいと思う。 ・南摩ダムは、鹿沼市だけにメリットがあるかどうかではなく、下流域の都市の皆さんとの兼ね合いを総合的に判断したうえで必要な事業であると国が決めた方針なので、それを信頼していきたい。 今更賛成反対と言っても、正直ここまで動き出しているの、ここはもう前向きに受け止めたい。アウトドアのブームが入ってきて、新しい関わりも生まれているので、例えばアウトドアのまち作りを進めていく方が、鹿沼市にとってメリットがあると思う。 ・治水については、効果が限定的だったとしても、洪水は想像のつかないところがあるので、やれるだけのことをやっていくことは必要だ。 ・私はダムについては賛成の立場だった。25年ぐらい前になるが、仕事の関係でそちらを回っていたこともあり、梶又地区の方々とお話する機会があった。地権者の方で、そのまま住まわれている方の思い、自分の住んでいるところを移転しなければならなかった方々の思いをくみ入れると非常に難しい事業だったが賛成です。 ・その後、工期が多少伸びたがそれをもっとスムーズに進めていただければと思う。今はもう随分形になってきたので、地域を含めて、それを活性化に繋げていければと思っている。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
幸町 1丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・16ページの提言2のところに今の南摩ダムの方があつたが、昔鹿沼は「木工の町」だった。豊かな食としては、そば、いちご、トマト、ニラがあるが、その中で市長は「いちご市」と大々的に掲げている。 ・各議員はその「いちご市」に対してどういう思いを持っているか、どういう風に決まってしまったのかお聞きしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いちご市については反対。元々鹿沼市は「木のまち鹿沼」というスローガンだったが、そこに力が非常に薄い。 イチゴよりニラの方が生産量もトップクラスだし、さつきが潤った時期もあった。何でもっとさつきに力を入れてくれないのかという不満の声もある。特に「木の街」は、昔は西のお大臣様と言って、山を持っている方が財閥で、貧乏人にはくれないというような山を持っていて、西の地区の方は強かった。でも今はもう林業が低迷してしまい、鳥獣も出るし、もっと林業、木工業に力を入れなければと思っている。 ・いちご市鹿沼は、佐藤市長の営業戦略でパフォーマンス。10何年経過して、パフォーマンスが成功したかどうか興味を持っている。お金をかけていないからいいじゃないかと市長は言うが、営業戦略と言うからには結果が出ないといけない。「いちご市」はあたりがいいので私も反対はしないが、ただ一つ私がいつも反対していることは「いちご市の旗」を作ったこと。国旗は法律で定まっているし、鹿沼市旗は条例で定まっている。いちご市は何にも議会に諮られていない。それを国旗と鹿沼市旗と自分のパフォーマンスのいちご市旗と一緒に掲げるというのは間違っているということをはっきり申し上げ議論している。 ・いちご市は営業戦略の一つ。鹿沼にはさつきや木工などいろいろな資源がある中で、いちごは、いちごのスイーツだったり、若い方にとって結構ブームだった。なおかつ鹿沼のイチゴの品質がいいということ。素晴らしい品質を保つために、実は農家の方は「こういう風に作らなきゃ駄目だ」という鉄の規律があつて、みんなで意思統一して、ものすごい努力をされている。そういうことから、いちご市を標榜しているのだと思う。 香川のうどん県のように、知名度を上げるためには何か打ち出さないと、という中で一定程度インパクトがあつたのかなと思う。 ・最近焼売に押されているところもあり、いろいろな事業者の方たちが新しい商品を開発したり、そういう流

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>れに繋がっていけば行政が何かをやるよりも、それを打ち出したことにより民間の皆さん、市民の皆さんが様々なアイデアを付加していくという流れが望ましいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は市長のいちごのマスクにかなり違和感がある。営業戦略の部分での一押しということ。観光いちご園に例えばバスで来て、苺を摘める場所や、そういう場所がない。そういうことも含めて、イチゴ農家が毎年減っているのでもっとイチゴ農家をケアしてサポートしていくような政策がなければ、いちご市とは言えないと思う。 ・私はイチゴよりもニラの方がテレビで取り上げられて全国に放送され、イメージに関しても今後どういうふうに展開していくのかなと思っている。 ・私は地域資源と言われている地域ごとにある魅力をどんどん繰り出していくことが必要だと思う。どう生かしていくかについては、もっといろいろできると思う。苺で売っていくなら、例えば苺サミットのように全国から観光客を呼ぶ仕掛けや、インドネシアとの交流のきっかけにうまく使う方法もある。 ・市民の皆さんに、もっと愛着を持ってもらう仕組みを作る必要がある。例えば、国体のネクタイはシンプルで使えるが、いちごのネクタイは20代のビジネスマンの若者にはちょっとどうかと思う。もっと若者受けするデザインを考えた方がいい。外部の業者にお金払ってやってもらう手法もある。また、これからは人口減少の中で女性向けに発信していかないと生き残れないと言われているので、例えば女性による苺グッズやキャラクターの商品展開や、PR方法を打ち出すべき。いちご市について反対はしないが、せっかくやるならもっと工夫してやってほしい。 ・シュウマイの話もあったが、どれもこれもとなると一つ一つが薄まってしまうので、そこは気をつけて、手を出し過ぎない方がいいと思う。

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<ul style="list-style-type: none"> ・私はいちご市については賛成の立場で、戦略上良いことだと思う。いちごの生産量は栃木県が何十年も全国1位で、中でも真岡市が1位、栃木市が2位、少し離れて鹿沼市。しかし、もし鹿沼が「いちご市宣言」していなかったら、他市にそのイメージを取られていたと思う。他にもニラ、トマト、梨等の特産品はあり、鹿沼市もニラそばで売り出しているが、ニラは全国で2位。(1位は高知県) ・子供から年配の方まで、イチゴの知名度は高い。今後も「いちご市」を起爆剤に多方面からシティープロモーションを推進してほしい。
<p>緑町 3丁目</p>	<p>・鹿沼の秋祭りについて、開催運営が大変だという意見が聞かれる中、議会として秋祭りを存続するために、地元の人が集まって参加するような形などをどう考えているかをお聞きしたい。</p> <p>国や県はそれぞれに地元の色を出そうという流れなので、市長のリーダーシップに対し、議員がそれぞれ違った意見を出し合えば、更に良くしていけると思う。秋祭りについて、私はもともと地元ではないが、50年間見えてきて、いろいろな地方の祭りに参加した中で、そこそこすごいなと思っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議員としての立場と、町内としての立場と混ざってしまうかもしれないが、秋祭りはユネスコ無形文化遺産に登録されたということで、それなりの価値が全国的にも、世界的にも認められたということを押さえた上で、人手不足について今後どうしていくかを考えていきたい。 ・秋祭りの時に屋台に乗っているお囃子の皆さんは、鹿沼市全域、各地の方が乗っている。自分の町内で運営している町内もいくつかあるが、他の地区の皆さんと協力し合っている。例えば上材木町は、栃窪の皆さんが乗るとか、鹿沼市内の地域同士の交流をベースに動いているということで、秋祭りは中心市街地だけの物でなく、全市で協力して行っていることをまず押さえておきたい。また、私の町内では、若衆が5人ぐらいしか構成できず、残りの20~30人は町外、市外からから集めている。それはコミュニティ作りにとっても役立っているのでは、そこは生かしていきたい。また、高校を中退した若いやんちゃな男の子も、祭りの中で自分の役割を持って地域に関わっているという方も2, 3人いる。 <p>まずはコミュニティ作りとして祭りを存続し、その上で外に向けた観光的なものは市の観光協会もしくはプロの考えを持った人を入れて本格的なPRを仕掛ける必要がある。せっかくユネスコ登録されたので、他の町の同じような伝統文化を持っているところとどんどん交</p>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>流し、観光のツールを使うなど、市として仕掛けていくべきだと考えている。</p>
<p>緑町 2丁目</p>	<p>・鹿沼市は JR も東武線も走っていて、交通の便は良い方だが、市全体のルートについてどう考えているか。 宇都宮市ではLRTが動き始めている。今度は延伸して鹿沼にもLRTが来ることもあるのかどうかもお聞きしたい。</p>	<p>・LRTについては、この間の議員の大方が宇都宮での勉強会に参加し、鹿沼でも LRT に関する議員連盟を立ち上げようという話がある。宇都宮市の担当者からいろいろな説明をお聞きした。最初は夢のような話で大変なことも多くあったが、15年経ち、あと1年で現実に走り出す。市貝町、芳賀町の発展も見えてきて、東側ができて今度は西側に新幹線をまたいで作新から青年会館ぐらいまでが計画区間、そこから大谷までが検討区間になっている。まだ計画の段階なので、更に鹿沼までとなると、検討の、検討の、検討になり、何十年後になるか分からないが、そういう夢は持っていた方がいいと思う。</p>
<p>緑町 3丁目</p>	<p>・400名ぐらいの雇用が生まれるであろうと言われていたコストコが、鹿沼にできるはずが壬生へ行ってしまったことについてどう思うか。</p>	<p>・石川あたりにという話で地元の説明会があり、市長もコストコの社長と直接会って、精一杯のことはされたと思うが、結果としては壬生に行ってしまった。今までコストコは既に整備されているところに進出するところがほとんどの事例だったので、残念ながら一から用地買収して整備しようとするところには難しかったのかもしれない。そういう意味では壬生には既に広い用地があったことが一番の要因だったと考えられる。道路だけの要因ではなく、例えばもう既に産業団地が鹿沼市に整備がされていたら、その産業団地も一つの候補地になったかもしれないが、その時点ではなかったというところが一番の大きな要因かと行政は捉えている。</p> <p>・コストコは時給単価も高いと聞いている。もしコストコができていたら、かなり優良な雇用が生まれていたと思うので、非常に残念。</p> <p>・南押原方面の苺農家さんは、時給の高いコストコに人手を取られてしまい、苺のパートが減ってしまっているという影響も出ている。</p>
<p>緑町 3丁目</p>	<p>・花木センターと隣接する茂呂山のあり方について、各議員、考えを出し合ってほし</p>	<p>・最初は展望台があって、展望台からの景色を観るのが楽しみだったが、老朽化で廃止になった。そういうことについてもあらためて検討したり、山頂からの見通しを</p>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>い。花木センターについては様々な計画があるが、茂呂山に関してあまり意見が出ないのは非常に残念。茂呂山を利用している方や、東部台地区の住民の皆さんの意見や考えを聞いてほしい。昔は展望台から市内が一望できて、非常によかったが、今はなくなってしまい残念。また、毎年成長する木を、ボランティアの方が協力して伐採して下さっていて、すごいことだと思う。茂呂山のおかげで健康になり、元気になれるということで利用している方がとても多くいらっしゃる。</p>	<p>よくするために、ある程度(3本に1本か、2本に1本)伐採して風通しを良くするとか、手をかけたやり方も必要かと思う。ただ野鳥等の自然環境保護区になっているので、安易に木を切ることはできない。せっかくの素晴らしい場所なので、市民のためになる場として、どう有効活用したらいいか、議会と執行部でしっかり検討していく必要があると思う。貴重なご意見ありがとうございます。</p>
<p>栄町 1丁目</p>	<p>・私もこの地に生まれてこの地でお世話になっています。茂呂山は貴重な東部台の資源で、鹿沼市にとっても非常に大事な地域。執行部と議会と我々地元で、何とか前向きに、茂呂山を素晴らしいものにしていきたい。茂呂山をいろいろな面で活用してほしい。展望台も再生できるよう何とか前向きに取り組んでほしいと望みます。</p>	<p>・茂呂山については持ち帰らせていただき、議会で何が提案できるかを今後検討していきたいので、少しお時間をいただければと思う。</p>